

ブラウンバックセミナー
Brown Bag Seminar

2021.7.28
(水)

日
同時通訳
英

オンライン
(Zoom)
技術支援
九州大学 Q-AOS & TEMDEC
録画期間限定公開

12:10	12:10-12:15	紹介
12:50	12:15-12:40	プレゼン
	12:40-12:50	質疑応答

非排除的な都市化へ向けた新たな取り組み – – 東アジア大都市圏における NPO セクターの地理的視点

司会：スコット・バレンタイン教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)

都市化は、グローバル化した経済において重要な役割を果たします。しかし、これは、農村部と都市部間の不均一な開発という形だけでなく、都市内の社会的格差という形でも、不平等なプロセスであり続けています。当然のことながら、不平等と社会的包摂の問題は、国連の「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」(SDGs)の中心的な課題です。本発表では、東アジアの都市地域のコンテクストで統合された NPO セクターが現在主導している非排他的な都市化の実践を探ります。都心部にあることが多い低価格住宅と社会的支援サービスの集積拠点である「サービスハブ」の視点から、NPO (非営利団体) ケアサービスの空間的特徴に焦点を当てます。ケーススタディとして、非常に激しい格差社会を抱えている香港とシンガポールにおける生活困難者向け支援の特徴を取り上げます。



**ユルカトウスキ
ヒェラルド** 講師
九州大学 大学院 比較社会文化研究院

大阪市立大学大学院にて博士号を取得後、東アジアの都市地域における福祉提供の不平等とNPOなどのボランティアセクターの空間的発現に焦点を当てて研究しています。具体的には、都市再編のさまざまなプロセスの中で都心部のサービスハブの政治と福祉事業に関心を持っています。現在は、九州大学比較社会文化研究院の講師として、地球社会統合科学府の包括的東アジア・日本研究コースと社会的多様性共存コースにおいて、都市化に関するさまざまな社会問題について教えています。また、香港のホームレス問題とシンガポールの外国人労働者政権について幅広く出版しており、日本の文脈における都市再編の社会的影響の多様性に関する複数の研究プロジェクトに従事しています。

「サービスハブ」
「空間ポリティクス」
「東アジア大都市圏」
「格差問題」
「都市社会」

Key Words

登録はこちらから
https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_4-3ZFzs3SpKV_Yrxalx9lg